

2026 年 9 月 10 日

各 位

株式会社 西 京 銀 行
取締役頭取 松 岡 健

藤村鉄工有限会社さまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、藤村鉄工有限会社（本社：山口県熊毛郡田布施町 代表取締役 藤村 吉孝）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	藤村鉄工有限会社
所 在 地	山口県熊毛郡田布施町大字上田布施 66 番地 5
代 表 者	藤村 吉孝
SDGs への取組み	当社は、鉄構造部品の設計・加工・修理を手掛ける少数精鋭のものづくり企業です。長年培ってきた技術力と機動力を活かし、お客様の多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応しています。短納期案件や小規模修理を強みとし、地域インフラを支える確かな品質と信頼を礎に、持続可能な事業運営を推進しています。 また、定年制度の見直しや資格取得支援、熟練技術者による OJT を通じて、技能の継承と多様な働き方の実現に取り組んでいます。従業員一人ひとりが安心して長く活躍できるよう、安全衛生管理の徹底と働きがいのある職場環境の整備を推進しています

※ 藤村鉄工有限会社さまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



藤村鉄工有限会社 SDGs宣言

当社は、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

2026年9月10日
藤村鉄工有限会社
代表取締役 藤村 吉孝

当社のSDGsへの貢献

地域を支える、確かな技術と迅速対応

当社は、鉄構造部品の設計・加工・修理を手掛ける少数精鋭のものづくり企業です。長年培ってきた技術力と機動力を活かし、お客様の多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応しています。短納期案件や小規模修理を強みとし、地域インフラを支える確かな品質と信頼を礎に、持続可能な事業運営を推進しています。

【主な取り組み】

- 銅材の切断・穴あけ・溶接などの各種加工
- 小ロット・小規模案件への柔軟な対応
- 加工から検査までの一貫体制による短納期の実現
- 溶接検査・寸法検査の実施による品質確保



資源を活かし、環境を守るものづくり

当社は、太陽光発電設備やLED照明の導入を通じてエネルギー使用の効率化を図り、CO2排出量の削減に取り組んでいます。また、加工工程における材料ロスの低減や鉄スクラップの再利用を推進し、資源の有効活用と廃棄物の削減に努めることで、環境負荷の低減と持続可能なものづくりの実現を目指しています。

【主な取り組み】

- 敷地内の太陽光発電設備の活用による再生可能エネルギーの利用推進
- 工場照明のLED化による省エネルギー化の推進
- スクラップ再利用ルート構築による資源循環の推進

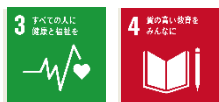


人を育て、技術をつなぐ職場づくり

当社は、定年制度の見直しや資格取得支援、熟練技術者によるOJTを通じて、技能の継承と多様な働き方の実現に取り組んでいます。また、従業員一人ひとりが安心して長く活躍できるよう、安全衛生管理の徹底と働きがいのある職場環境の整備を推進しています。

【主な取り組み】

- 継続雇用や短時間勤務等、従業員の事情や意思に応じた柔軟な勤務体制を整備
- 溶接・技能検定等受験費用補助による資格取得支援
- 熟練職人によるOJTを通じた技能・技術の承継



地域とともに、持続可能な社会の実現

当社は、スポーツ団体や教育・文化活動への継続的な寄付を通じて、地域社会の発展に貢献しています。次世代を担う人材の育成を支援するとともに、地域の伝統・文化の振興・承継にも取り組んでいます。今後も地域とのつながりを大切にし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み】

- 大畠レスリングスポーツ少年団への寄付
- 任意団体レスリングスピリッツへの寄付
- 田布施山城太鼓への寄付を通じた伝統文化の承継



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。